



令和5年度 南九州大学・南九州大学短期大学部卒業式 式辞

本日、学士・短期大学士・修士の学位を授与されたみなさん、ご卒業誠にありがとうございます。また、保護者・ご家族の皆様には心からお祝いを申し上げます。お忙しいなか、ご臨席を賜りましたご来賓の皆様に、厚くお礼申し上げます。

さて、卒業生のみなさんは自分自身で学生生活を振り返ってみるとどのような想いがよぎるでしょうか。

4年前から始まった新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大学卒業生のみなさんは入学時から大きな影響を受け、自宅等で授業をオンラインで受講する対応が取られるとともに、サークルなど課外活動にも制限が加えられました。短期大学部卒業生のみなさんも高校時代から大学入学後にかけて影響を受けてきました。

保護者の皆様はコロナ禍で過ごす大学生活に戸惑いながらも懸命に取り組むお子様方を様々な形で励まし温かく見守られたことと思います。

みなさんが工夫をしながら対応してこられたことに心から敬意を表します。意図せず受けざるを得なかった困難な状況の中でみなさんが身に付けた対応力や突破力は、今後の人生において必ず役立つはずです。

卒業にあたり、これから始まる新しい生活に期待を膨らませていることと思います。それぞれの分野で大きく活躍されることを願っています。一方で、これからの歩みの中で、もしかしたらあるときは自分の思惑通りに行かないこともあるかもしれません。

英語のことわざで「Adversity makes a man wise.」ということわざがあります。日本語では、「かんなんなんじ 艱難を玉にす」ということわざにもなっており、これは「逆境が人を賢くする」という意味です。

思い通りに行かないことがあったとき、そのような状況を打開するためにどうすればよいかを考え、先を見越した対策を取るなどにより、対応力を高めていってください。ときには家族・友人・職場の同僚・上司など周りの方々からの助言も参

考にしてください。結果が出るまでは時間のかかることがあるかもしれません。困難な状況に陥っても忍耐を持って過ごし苦境を乗り越えるまで前向きに進んでいってください。

このような過程を経ることで試練に耐える力も与えられることでしょう。また、苦境を打ち破ったときには湧き上がる喜びの深さを知ることができることでしょう。さらに試練を経験した人は、いままさに苦難の中にある人に対して優しくできる気持ちも備わっていくことと思います。

本日、みなさんが授与された学位は、みなさんがそれぞれの専門分野に関する知識や技術を習得したことの証しです。それを得たことに誇りと責任をもって、これからの人生を歩んでいただきたいと願っています。

南九州大学・南九州大学短期大学部は創立後五十五年以上が経過し、卒業生は合わせて一万六千名を超えています。みなさんの先輩たちが様々な分野で活躍しています。このたび本学を卒業し社会人としての一步を踏み出し、本学で身につけた知識や技能を活かしてそれぞれの道を歩もうとする卒業生のみなさんを心から応援します。

最後になりますが、みなさんが宮崎キャンパス・都城キャンパスで過ごした二年間または四年間の経験を糧にして自信と気概をもって、それぞれの場でしっかりと役割を果たしていくことを、私たち教職員は心から願っています。

これからのみなさんのご活躍とご健康を祈念し、私の式辞とさせていただきます。

令和六年三月十五日 南九州大学・南九州大学短期大学部学長 中瀬昌之